

この度は当社商品をお買い上げ頂きまして有難うございます。本書は製品を正しくご使用頂く為の使い方・製品説明及び注意事項を記載しております。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行って下さい。

警告 下記記載の内容をお守り下さい。お守り頂かないと
火災・感電・故障・怪我の原因となります。

パソコンの内部に部品を取り付ける場合は、パソコンの電源及び周辺機器の電源をOFFにしてから取付作業を行って下さい。

パソコンで使用直後はパソコン内部に触れないで下さい。パソコン内部には高温になる部分があり、冷めるまでお待ち下さい。

液体・異物が入らないように注意して下さい。また、本製品を高温・多湿の場所で使用しないで下さい。

本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取付けるパソコン及び周辺機器の取扱説明書を合わせてご確認下さい。

本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないよう作業して下さい。

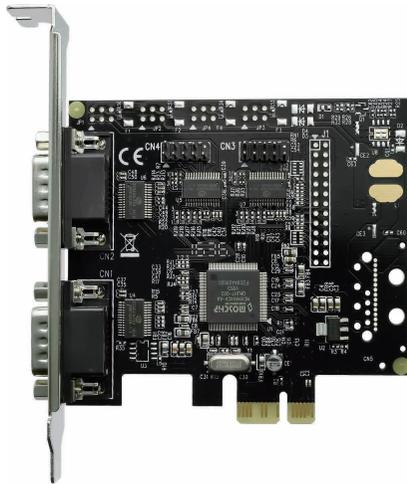
本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。
静電気が発生しにくい衣類を身につけて作業を行って下さい。
本製品を接続する前に必ずパソコンデータのバックアップを行って下さい。

下記のような場所では使用しないで下さい。
強い磁気の影響を受ける場所/静電気が発生する場所/振動を受ける場所/火気周辺、高温多湿、結露が発生する場所/直射日光を受ける場所/平らではない場所/漏電・漏水の可能性がある場所/電子機器の影響があつてはならない場所(病院等)/その他、常識では考えられない場所

特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。

本製品を廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。
最新情報は当社製品サイトにて更新情報があり次第、ご案内していく予定です。

【製品詳細説明】 SD-PE9901CV-4S2



写真は基板を見えるようにケーブルを外したものです。

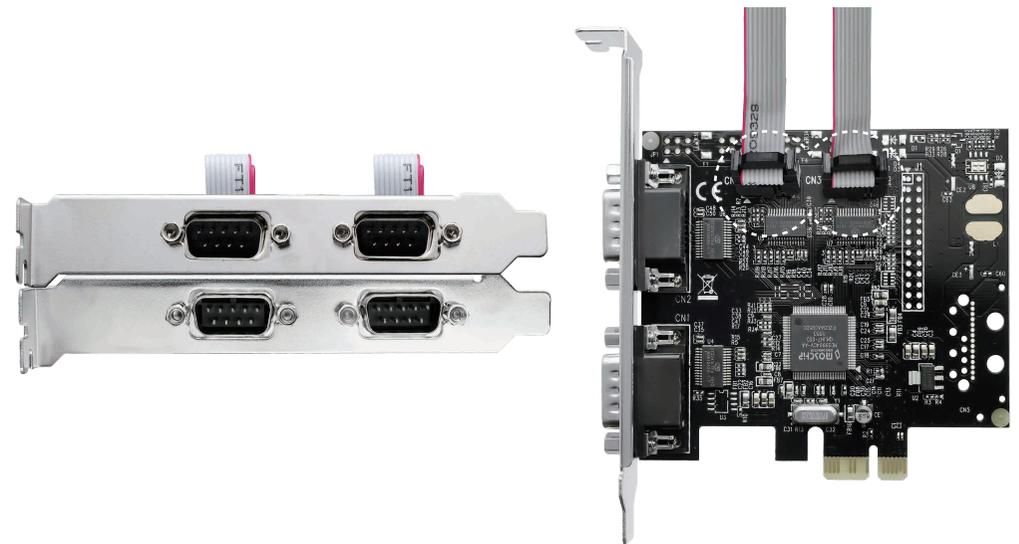
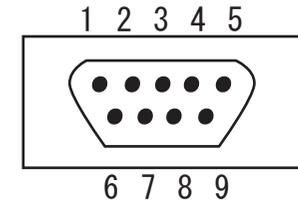
- 対応OS
Windows 10 / 8.1 / 8 / 7
- 同梱品 保証書

シリアルコントローラ	MosChip MCS9904			
接続	PCI Express x1			
通信速度	75 / 110 / 134 / 150 / 300 / 600 / 1200 / 1800 / 2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 14400 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200 / 128000 bps			
通信パラメータ	ビットデータ	4/5/6/7/8	スタートビット	1
	ストップビット	1/1.5/2	パリティ	Even / odd / None / Mark / Space
	フロー制御	Xon / Xoff / None / Hardware		

●コネクタピンアサイン

ピン	信号
1	DCD(Data Carrier Detect)
2	RxD(Receive Data)
3	TxD(Transmit Data)
4	DTR(Data Terminal Ready)
5	SG(Signal Ground)
6	DSR(Data Set Ready)
7	RTS(Request to Send)
8	CTS(Clear to Send)
9	RI (Ring Indicator)

D-SUB9PIN オス型



本製品はブラケットに2ポートづつポートを備えていますので2段を占有する形になります。またケーブルを接続する時は9ピンのオス側とメス側の配置を確認して接続を行って下さい。

ドライバインストール
<http://www.area-powers.jp/driverdownloadpage.html>

弊社サイトよりご利用 OS と bit 数をご確認の上、ドライバのダウンロードをお願い致します。

ダウンロード頂きますファイルは圧縮されていますので、解凍を行って下さい。

解凍後、フォルダを開いて頂きますと StnSetup をダブルクリックして頂きますとインストールが進みます。



StnSetup
をダブルクリック。

インストール画面が立ち上がります。



Install をクリックしてインストールを実行して下さい。

Install が完了致しますと Install の文字がグレーになりますので

Exit をクリックして下さい。

この後、Windows を必ず再起動して下さい。

以上で完了です。



ドライバのアンインストール方法

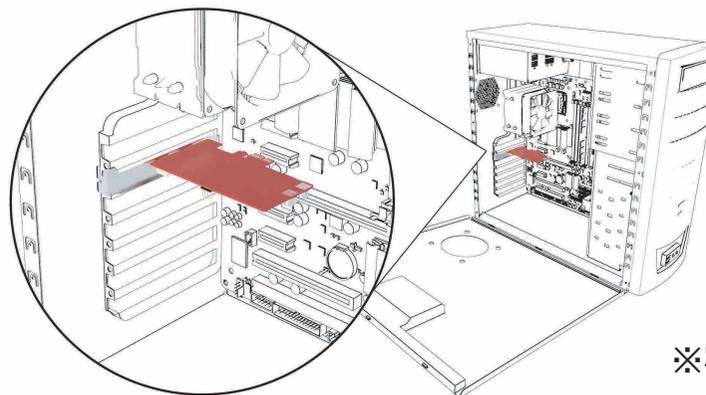
- ① PC 電源 OFF 後に本製品を取り外します。
- ② 3 ページ目のドライバダウンロードして頂きましたフォルダ内に「MOSCHIP_StnUninst」がありますので、こちらをダブルクリックして頂き、アンインストールを行って下さい。

■本製品をパソコンに接続する

※注意 ドライバインストール前に組み込まないで下さい。

1. 本製品を接続するパソコン、接続されている周辺機器の電源を OFF にし、本体から取り外して下さい。
2. パソコン本体に接続されているケーブル類を取り外します。
3. パソコン本体のカバーを取り外します。
※ 取り外し方法はご利用パソコンの説明書を参照して下さい。
4. 本製品の取り付け位置を確認し、ケースのブラケットを取り外します。
5. PCI Express x1 に本製品を差し込みます。
6. 差し込み後、ブラケット部分を固定して下さい。
※ 固定方法はケースにより異なりますが、一般的にはネジ固定となります。
※ 本製品にネジは付属しません。
7. 取り外したカバーを閉め、ケーブル類を取り付けて下さい。

以上で取付作業は完了となります。



※写真はイメージです。

※従来の PCI スロットには接続できません。
PCI Express x1 / x4 / x8 / x16 への接続が可能です。

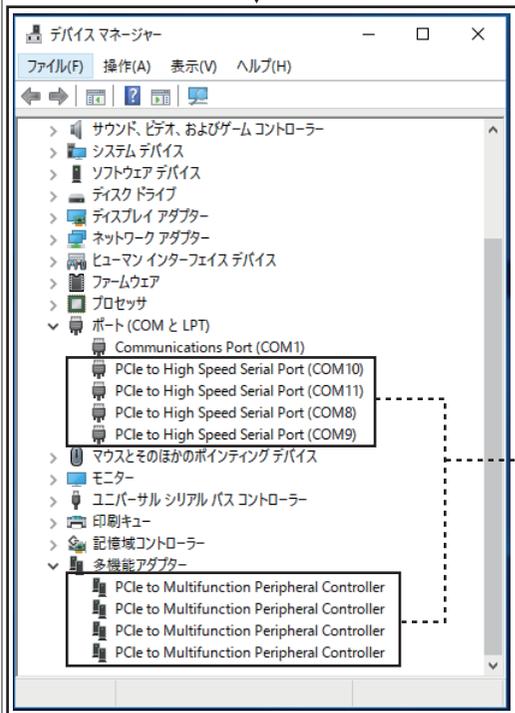
■ デバイスマネージャー認識画面



スタートのポップアップより
コントロールパネルを選択して下さい。



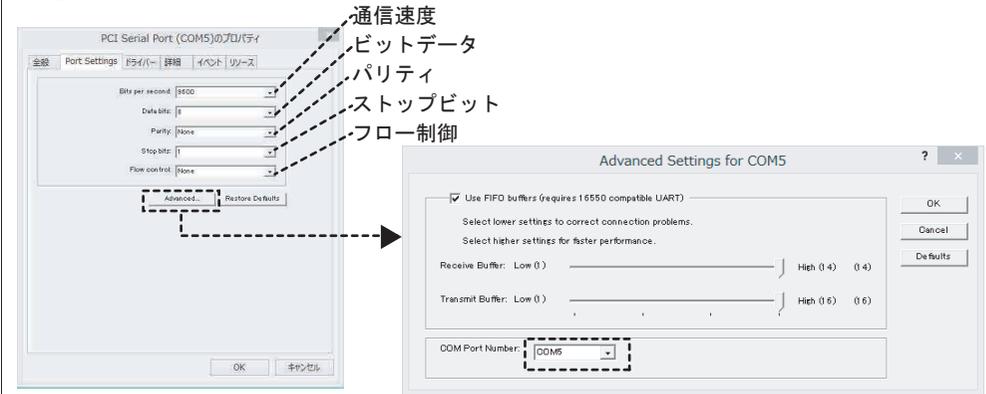
新しく開いたウィンドより「デバイスマネージャー」
をクリックして下さい。



こちらの表示が製品認識になります。
(COM8 / COM9 / COM10 / COM11 の表記は
ご使用パソコンの環境によりまして
COM2 / COM3 / COM4 / COM5 等の番号に
変わります。)

■ COM ポート番号変更方法

デバイスマネージャーの表記より変更したいポート番号を右クリックして頂きプロパティを選択して
下さい。



こちらよりポート番号を変更して下さい。



ワンポイント

RS232C の機器によりましては対応しているポート番号が決められている場合がございます。
上記ポート番号変更方法により機器が対応しているポート番号へ変更をして下さい。

FAQ

Q. Windows7 の XP モードに対応していますか？

A. XP モードはバーチャル (仮想) OS ですのでサポート対象外とさせていただきます。

Q. IRQ の変更を教えてください。

A. IRQ に関しましては自動割り振りとなりますので変更は出来ない仕様となっています。

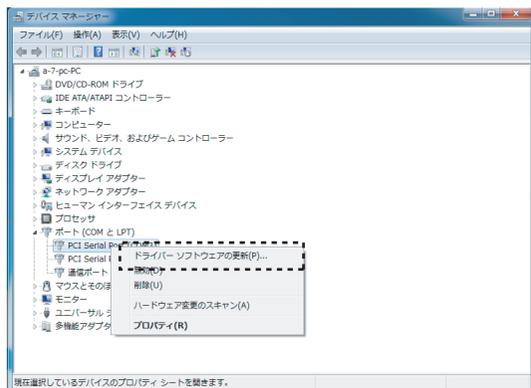
Q. 機器との通信が出来ない。

A. 本製品は認識されているのにも関わらず通信が出来ない場合。
接続されているデバイス側の対応 COM 番号 / 対応通信速度と
本製品の COM 番号 / 通信速度の設定があっているかご確認下さい。
また、接続デバイスは拡張インターフェイス越しでの動作をサポート
しているかをご確認下さい。

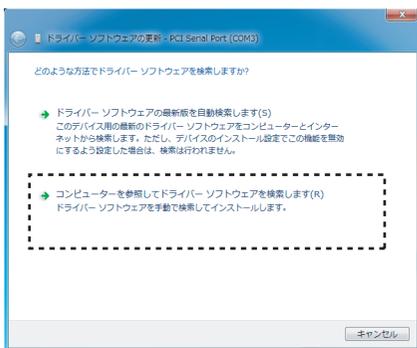
Q. Windows がブルーバックになり落ちてしまう。

A. 本製品以外のドライバが適用されている可能性がありますので
一旦本製品をパソコンから取り外して下さい。
取り外した状態でパソコンを起動して頂き、説明書 3 ページの内容に添って
ドライバをダウンロード後、ドライバのインストールをお願い致します。
インストール完了後に説明書 4 ページに添って組み込みをお願い致します。

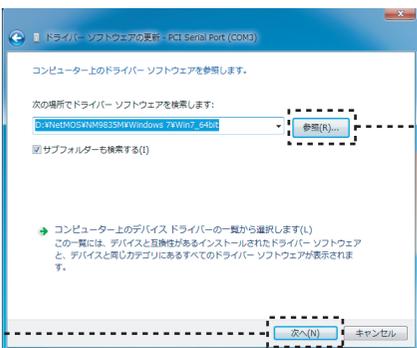
デバイスマネージャー上で！や？が表示されている際は認識が正常に終わっていません。
 右クリックより表示されるドライバの更新より再度ドライバを当て直して下さい。
 または差し込まれているスロットの IRQ が重複する事により問題が出ている事も考え
 られますのでスロットを変更する事をお試し下さい。



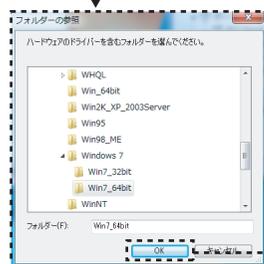
5 ページを参照の上、デバイスマネージャーを
 開いて下さい。
 ! マークの出ている項目を右クリックして
 頂き、「ドライバーソフトウェアの更新」
 を選択して下さい。



「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを
 検索します」を選択して下さい。



「参照」をクリックして頂き、ダウンロードしたドライバの
 位置を選んで下さい。



位置を選択後「OK」
 をクリックでウィンドウ
 を閉じます。

ドライバの位置を設定後「次へ」をクリック
 して下さい。
 後は指示にそってインストールを行って下さい。
 ! がついているポートに対し、再度行って下さい。